

2020年度 年末手当シリーズ⑨

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

コロナ禍でも業務量は変わらないどころか、消毒作業や様々な作業が増えているのに、ボーナスを下げられる理由はない。仕事へのモチベーションが落ちるだけ。

収入が落ちたからボーナス下げるのは許さない！！

会社は設備投資だけでなく、それを扱う社員にも投資すべき！仕事の量は増えるばかり。責任は重い。けど減額。こんなことは認めない！

毎月、家計の赤字はボーナスで補っている。今こそ、家族のためにも安定したボーナスを支払って貰わなければ困る！

毎月の生活費をボーナスから補填しています。社宅もあと5年で強制的に出ていかなければなりません。

少ないボーナスでは生活が苦しく、持ち家を含めた将来設計もできず、幸福には程遠いです。

コロナ禍でも会社経営を支えているのは社員1人ひとりです。その社員に対してもっと投資をするべきです！社員のモチベーション、やる気が上がるような回答を強く望みます！

赤字決算は「緊急事態宣言」や「渡航自粛要請」など国の施策によるもの。現場の社員には全く責任はなく、それどころかコロナ禍の中、大変な苦勞をして職責を果たしてきた。

現場の社員の苦勞に報いるために、社員のモチベーションを下げずに「安全・安定輸送」の確保のためにも、会社は社員が納得できる期末手当で応えてほしい！